

出資金ふやし頑張ろう！

あかるいまち21

No.990号 2017年3月1日 組織部 TEL082-532-1264

	2月累計	4月～2月
組合員ふやし	71人	1,230人
出資金ふやし	785万円	1億1,804万円
純増	51万円	1,950万円

地域の一人暮らしを支える

つながりマップづくりの中で、一人暮らしの組合員さんの地図落としを進めていた安芸東支部では、このつながりマップづくりの活動から、一人暮らしの方の見守り役を決めての連絡網づくりに発展。

その中で、近くのスーパーが廃業し、買い物難民となり困っていると見守り対象の組合員から連絡を受けました。親身に相談に乗り、その方の近隣の組合員さんが利用されている購買生協の戸配利用へと結びつける事ができました。



がんばれ医学生！ 腹が減っては戦ができぬ

毎週水曜日、広島大学霞キャンパスすぐそばにある広島民医連学生サポートセンターで、『医系学生交流ランチ会』が行われています。これは、未来の組合員の健康を担う（かもしれない）医学生たちとのつながりづくりの一環で、お昼ご飯を作って一緒に食べながら交流するというもの



です。お昼ご飯を作るのは生協の組合員さんで、中央保健からも己斐支部の「ランチ班」も協力してくれています。

2月22日、この日もランチ班の3人がせっせと料理を作ってくれていました。メニューも毎回組合員さんが工夫をこらしていて、この日は大豆ご飯、豆乳のお味噌汁、豆苗と“豆づくし”のメニューです。メインの鱈のムニエルと副菜、デザートもそろって、一汁三菜のバランスのとれたランチが出来上がりました。これで学生さんを迎える準備はバッチリ！ 大学はちょうど春休み中とのこともあり、いつもより訪れる学生が少なかったですが、一緒においしいランチをいただきました。広島民医連の職員にとっても、水曜日のランチはうきうき♪のようです。

勉強はもちろん、部活にバイトにと精力的な医学生たちですが、“腹が減っては戦ができぬ”。組合員さんのあったかい手作りランチで、がんばる力がわいてくるんでしょうね♪。

協同組合がよりよい社会を築きます

 **広島中央保健生活協同組合**